

■東京大賞典(G I)アラカルト(過去 10 年の分析)

※平成 23 年から外国馬も出走できる国際 G I 競走に格上げ

※記録は 12 月 5 日時点のもの

■JRA 所属馬が 10 勝で圧倒

◇JRA 所属馬 10 勝、2 着 8 回、3 着 9 回。3 着内率は 90.0%

◇地方所属馬 0 勝、2 着 2 回、3 着 1 回。3 着内率 10.0%

◇JRA 所属馬のワンツースリー・フィニッシュは 7 回

◇3 着以内に地方所属馬 2 頭が入ったことは一度もない

■チャンピオンズカップ出走馬が 8 勝、2 着 8 回

※平成 26 年から JC ダートはチャンピオンズカップに名称変更

◇同年のチャンピオンズカップ出走馬は 44 頭が出走し 8 勝、2 着 8 回、3 着 8 回の好成績

◇地方所属のチャンピオンズカップ出走馬は 2 頭が出走し 2 着 1 回

※第 53 回 2 着フリーオーソ。

◇チャンピオンズカップ 5 着以上の馬は 22 頭が出走し 7 勝、2 着 4 回、3 着 5 回

■チャンピオンズカップ不参戦組の傾向

◇チャンピオンズカップ不出走馬は 2 勝、2 着 2 回、3 着 2 回

◇上記のうち、地方所属馬は 0 勝、2 着 1 回、3 着 1 回

第 56 回 2 着フリーオーソ(同年は川崎記念 2 着、かしわ記念 2 着、帝王賞 1 着、JBC クラシック 2 着)

第 60 回 3 着サミットストーン(同年は浦和記念 1 着ほか 9 戦 3 勝、2 着 3 回、3 着 1 回)

◇チャンピオンズカップ不出走の JRA 所属馬は 2 勝、2 着 1 回、3 着 1 回

第 52 回 2 着クーリンガー(第 50 回東京大賞典 3 着)

第 55 回 3 着ロールオブザダイス(佐賀記念 2 着、ダイオライト記念 3 着など)

第 56 回優勝スマートファルコン(JBC クラシック 1 着、浦和記念 1 着)

第 57 回優勝スマートファルコン(JBC クラシック 2 勝、東京大賞典 1 着など)

■JBC クラシックの出走馬は 6 勝、2 着 7 回

◇同年の JBC クラシック出走馬は 39 頭が出走し 6 勝、2 着 7 回、3 着 3 回

◇JBC クラシック 3 着以内の地方所属馬は 3 頭が出走し 2 着 2 回

※3 着内をハズした例外馬は第 52 回 6 着のボンネビルレコード(JBC クラシック 3 着)のみ。

◇JBC クラシックの連対馬は 16 頭が出走し 5 勝、2 着 6 回、3 着 3 回。3 着内率は 87.5%。

※4 着以下に敗れたのは第 60 回 8 着クリソライト、第 61 回 4 着コパノリッキーのみ。

■浦和記念出走馬は 1 勝、2 着 1 回、3 着 1 回

※第 52 回 2 着クーリンガー(浦和記念 9 着)、第 56 回優勝スマートファルコン(浦和記念 1 着)、第

60 回 3 着サミットストーン(浦和記念 1 着)

■JBCクラシック、チャンピオンズカップいずれにも不出走の馬の動向

※3着内馬30頭のうち3頭のみ。第52回2着クーリンガー、第55回3着ロールオブザダイス、第60回3着サミットストーン。

■過去の好走馬が再び活躍する傾向

第50回3着クーリンガー→第52回2着

第51回2着シーキングザダイヤ→第52回3着

第53回優勝ヴァーミアン→第54回2着→第55回2着

// 2着フリオソ→第56回2着

第54回3着サクセスブロッケン→第55回優勝

第56回優勝スマートファルコン→第57回優勝

第61回2着ホッコータルマエ→第60回優勝→第59回優勝

3着ワンダーアキュート→第59回2着→第58回3着→第57回2着

※連覇は第56・57回優勝スマートファルコン、第59・60回優勝ホッコータルマエの2頭。

■同年の帝王賞1着馬の優勝は2回

※帝王賞の優勝馬は⑤、不、⑤、②、②、①、不、①、⑦、②着で8戦2勝、2着3回、3着0回。

※今年の帝王賞の優勝馬はコパノリッキー。

■南関東所属馬にはダートG I・Jpn Iでの実績が必要

※南関東所属で3着以内だった3頭中2頭にG I・Jpn I連対実績があった。

◇第53回2着フリオソ(全日本2歳優駿1着、JDD1着、JBCクラシック2着)

◇第56回2着フリオソ(全日本2歳優駿1着、JDD1着、JBCクラシック2着2回、帝王賞2勝など)

※例外は第60回3着のサミットストーンのみ。

■地方の他地区所属馬の優勝はなし

※14年前(第47回)優勝のトーホウエンペラー(岩手)、17年前(第44回)2着メイセイオペラ(岩手)の例がある。

■外国産馬の優勝はなし

※9頭が出走して、0勝、2着0回、3着2回。

◇第52回3着シーキングザダイヤ

◇第57回3着テストマッタ

■牝馬の優勝はなし

※牝馬は8頭が出走し、3着以内は1頭もない。

※第46回優勝のファストフレンドを最後に牝馬の3着以内はない。

■5歳馬が4勝でリード

◇3歳馬 0勝、2着2回、3着2回。3着内率13.3%

◇4歳馬 3勝、2着1回、3着1回。3着内率16.7%

◇5歳馬 4勝、2着1回、3着3回。3着内率26.7%

- ◇6 歳馬 3 勝、2 着 3 回、3 着 3 回。3 着内率 30.0%
- ◇7 歳馬 0 勝、2 着 3 回、3 着 0 回。3 着内率 10.0%
- ◇8 歳馬 0 勝、2 着 0 回、3 着 0 回。3 着内率 0.0%
- ◇9 歳馬 0 勝、2 着 0 回、3 着 1 回。3 着内率 3.3%

■3歳馬は同年のダート G I ・Jpn I で好走(連対)が条件

※3 着以内の 3 歳馬 4 頭中 3 頭が同年のダート G I ・Jpn I で連対実績。

- ◇第 53 回 2 着フリオソ(全日本 2 歳優駿優勝、JDD 優勝、JBC クラシック 2 着)
- ◇第 54 回 3 着サクセスブロッケン(JDD 優勝、JBC クラシック 2 着)
- ◇第 58 回 2 着ハタノヴァンクール(JDD 優勝)

※ただ 1 頭の例外は第 56 回 3 着のバーディバーディ(JRA)。

※上記条件を充たさず敗れた上位人気(3 番人気以内)の馬は、第 55 回ゴールデンチケット(5 着)のみ。

■前2走の着順に注目

※前 2 走とも掲示板を外した馬は苦戦。例外は 3 着内馬 30 頭中 3 頭。第 52 回 2 着クーリンガー、第 57 回 3 着テストマッタ、第 58 回 2 着ハタノヴァンクール。

■馬体重 500 キロ以下の優勝馬は2頭

※第 58 回ローマンレジェンド(497kg)、第 61 回サウンドトゥルー(473kg)。

■1・2番人気馬の3着内率は85%と堅実

- ◇1 番人気馬 5 勝、2 着 3 回、3 着 1 回。3 着内率 90.0%
- ◇2 番人気馬 3 勝、2 着 4 回、3 着 1 回。3 着内率 80.0%
- ◇3 番人気馬 2 勝、2 着 2 回、3 着 2 回。3 着内率 60.0%

※上位 4 番人気以内の馬は 10 勝、2 着 9 回、3 着 6 回で、3 着内率は 83.3%。

■武豊、幸英明騎手が3勝

※武豊騎手は 53 回、56 回、57 回で優勝。

※幸英明騎手は第 52 回、第 59 回、第 60 回で優勝。

■小崎憲、藤原英昭、西浦勝一調教師が2勝で並ぶ

※小崎憲調教師は第 56 回・第 57 回をスマートファルコンで連覇。

※藤原英昭調教師は第 55 回サクセスブロッケン、第 58 回ローマンレジェンドで優勝。

※西浦勝一調教師は第 59 回・第 60 回をホッコータルマエで連覇。

■⑤番と⑫番と⑬番が2勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	0	0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	2	2	1	0	0
2着	2	0	0	3	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	0	0
3着	0	1	2	1	0	1	0	1	0	1	2	0	1	0	0	0

※⑫より外枠で半数の 5 勝を挙げている。

■東京大賞典(G I)アラカルト(過去全61回の分析)

※第1回から第9回までは「秋の鞍競走」で実施

※第1回から第7回までは2600m、第8回から第34回までは3000m、

第35回から第43回までは2800mで実施

※第41回から指定交流競走として実施

※第57回から外国馬も出走できる国際G I競走に格上げ

※記録は12月5日時点のもの

■1番人気馬の3着内率は65%

◇1番人気馬 21勝、2着13回、3着6回。3着内率65.6%

◇2番人気馬 12勝、2着12回、3着7回。3着内率50.8%

◇3番人気馬 10勝、2着9回、3着8回。3着内率44.3%

※下位人気馬では過去9番人気馬が2勝。まだ10番人気以下の優勝はなし。

また7番人気馬の優勝もない。

■上位3番人気以内の馬の勝率は70.5%

◇61回中43回は3番人気以内の馬による優勝。確率は70.5%

◇61回中24回は3番人気以内の馬によるワンツー。確率は39.3%

◇61回中5回は、3番人気以内の馬によるワンツースリー。確率8.2%

■2勝馬は4頭

第30回、第33回 テツノカチドキ

第50回、第51回 アジュディミツオー

第56回、第57回 スマートファルコン

第59回、第60回 ホッコータルマエ

■牝馬は6勝

第1回 ミサアサヒロ

第13回 ヒガシジヨオー

第35回 ロジータ

第38回 ドラールオウカン

第39回 ホワイトシルバー

第46回 ファストフレンド

■外国産馬は2勝

第43回 トーヨーシアトル

第49回 スターキングマン

■JRA 所属馬が17勝で圧倒(指定交流競走になった第41回から21年間のデータ)

◇地方所属馬 4勝、2着5回、3着8回。3着内率 27.0%

◇JRA 所属馬 17勝、2着16回、3着13回。3着内率 73.0%

※地方所属馬の内訳。

◇TCK 所属馬 0勝、2着2回、3着2回

◇船橋所属馬 3勝、2着2回、3着5回

◇岩手所属馬 1勝、2着1回、3着0回

◇愛知所属馬 0勝、2着0回、3着1回

■同年の帝王賞と東京大賞典を連覇した馬は5頭

昭和 56 年 アズマキング

昭和 62 年 テツノカチドキ

平成 10 年 アブクマポーロ

平成 12 年 ファストフレンド

平成 23 年 スマートファルコン

平成 25 年 ホッコータルマエ

※異なった年に両レースを制した馬はトラストホーク、スズユウ、アジュディミツオー、ヴァーミリアン、スマートファルコン、ホッコータルマエの6頭。

■武豊騎手が5勝

※武豊騎手は第48回、49回、53回、56回、57回で優勝。これに続くのが、赤間清松、佐々木竹見、内田博幸、幸英明騎手の3勝。

■現役では小崎憲、藤原英昭、西浦勝一調教師が2勝で並ぶ

※また歴代の最多勝利は小暮嘉久調教師の5勝。

■②番が8勝でリード。隣の①番は第17回を最後に優勝がない

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	1	8	6	5	7	3	4	4	4	3	3	5	5	2	0	1
2着	5	3	6	8	5	5	5	4	7	2	5	2	3	1	0	0
3着	6	3	7	8	3	3	2	9	3	4	6	2	1	3	1	0

■⑧枠が12勝で最多

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	3	9	8	7	7	10	5	12
2着	6	6	6	11	10	11	5	6
3着	8	4	8	9	5	10	11	6